根本新聞

濟棠氏と會見

平後四時間観

で日本側の諒解を求むると共 一で之が遂行には最後の一 見席上陳氏は左の點を强調し 一、防共政策は全く日本と同 関中にして辭去したが、右會 和確立に邁進す の交換を行ひ、慇懃二時 り對日親善を圖り東洋の平

陳氏、日本の援助を懇請

會議決裂は

スの發受に

費に工事上幾多の困難を伴

の料金も微牧せず拓け行く。

簡に除る切替と千箇に達す

切替後

注意

同盟通信に限る

會社に於ては國都新京の發展しれて居たのであるが、電々されて居たのであるが、電々を設定する。

一に於て既に各加入者に

「電話

のかけ方」及電話番號は切めて居るが特に電話番號は切めて居るが特に電話番號簿追加

根本班長

香港へ

替と同時に新番號に變更せら る」ので利用の際は必ず番號 海追加を御覧の上左の事項を が様に注意願ひたいと係員は

合流する方針と解される之に 對して帝國全權部は共通最大 限方式を一歩も譲らずあくま で原則先決主義の强硬態度を 持する方針だから最早會議の 決裂は單なる時日の問題と見

更方を要望されて居たのであ 加入者からも只管自働式に變 加入者がらも只管自働式に變

海軍長官方針闡明

を固

成し、更に又ロシアは七千五 の部分的短縮を聞る筈であるベリヤ鐡道パイカル湖パパロ 別路を建設してシベリキ鐡造ペリヤ鐡道パイカル湖パパロ 別路を建設してシベリキ鐡造に上ればシ る即ち黒海より太平洋に出て上海州日磯國通】當地に達 百哩に亘る鐡道を計畫中でも

中域道

內電話切替

手動電話四百余を自働式に

バイカルーハバロフスク間

境不安 白編委 刷報行 

五五五 价价 鐵鐵圖

ピイに陣取つ

方會とやらの御大であるらしや小島と一緒に來た。國同をやか島と一緒に來た。國同を中野さんは學者の管の杉森

説いて來た

士二月

一十三十日日日日

日日日

タタ休休朝休夕 刊刊刊刊刊刊刊刊

年始

木紅

1、物情隱然、 多くの問題は (S・X)

の特大製顧問閣下

議會を続つて騒々しい東京

表帆出連大月一船絡連滿日

四話電通速漁天奉船香饭



滿州愛浪家各位

雲

壽々木米若

大浦一朗師紹介の御挨拶 曹標には益々御多祥の段率欣賀候 却 曹標には益々御多祥の段率欣賀候 却 曹標には益々御多祥の段率欣賀候 却 一級の年少友人にてその藝風は新味横巻 元氣潑剌特にその美聲妙節は浪界の驚 異とするに足る天才に御座候へば小生等と有 異とするに足る天才に御座候へば小生等と有 等同様何平御後援御鞭韃の程伏して本 等同様何平御後援御鞭韃の程伏して本

發行

會議に日本の大陸進出を阻止すら

東する大眼目なりと大見榮を とあり。満្襲魔技術となく 日の敵としてあらゆる術策を とあり。満襲魔技術となく 一様進出阻止の方策の實現に寄 は重大なる興味を引くものが 一様に邁進せんとじてみる事 一様に適進せんとしてみる事 一様に適進せんとしてみる事 一様に適進せんとしてみる事 

つのり南

新聞通信員中にも對外地放会 のさへ現はれる有線であつた のさへ現はれる有線であつた 然るに今回全國有力新聞社の 自治的共同機關として社團法 人同盟通信配が設立されたの で同社を教詞に於る代表的通 で同社を教詞に於る代表的通

用せしめ以て諸外國の宣傳ニみ國際無線電信放送側度を利

明日午前零時を期し

新京日

日新聞社

滋養美味

天下一品

衛生

清潔

の三往復とする記時間まで毎週日、

て新規則を公布する事になつ と 酸く世界各國に普及徹底セ

て取扱ふことに た特 楽電話局又 楽電話局又

(東京國通)政府では南洋經 一定部氏を特派使節としてブラジルに派遣したると同様の激 味を以て前三井物産筆頭總務 味を以て前三井物産筆頭總務 東方面に特派し、經濟事情の 成務並に國民的親善に當らし あるに決し、既に安川氏の受 があるに決し、既に安川氏の受 洋方面へ の三省後とする。の三省後とする。の三省後とする。 本の毎日運行の外に左記時間にて月、央、本、土の四間にて月、央、本、土の四間にて月、中、本、土の四間にて月、中、本、土の四間により一般の要認により水一往復運航する。 で期紙がは一方宗間は近年期で、手、ハルビソー線に一新京間により一般の要認により、 で期紙がより一般で要認により水一往復運航する。 での三省後とする。 での三、カルー域により、ルー域により、ルルー域により、ルー域によ

田發し約平年の種の支障なき限り明

事になつてゐる 中の独定を以て各 いり明年一月下旬

き 任 任

(ハルビン國通) 當地米系信 透銀行の破産整理に関する米 國官憲の態度は依然として不 誠意極まるものあるに鑑み州 日午後四時から當地商業クラ ブに於て再度預念者大會を閉 催し其後の折衝經過を報告する を促すことになった

智港に向つたが 陸軍省新

照國丸で上海

大原議長朱乙へ
市民は廿九日午後大時の汽車
百氏は廿九日午後大時の汽車
にて朝鮮朱乙湍泉に前が出立 往來

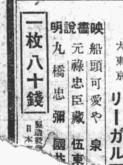
富錦線定期航空 電鍋線定期航空 (奉天願通) 業に運賃を値下げした富錦線定期航空は今般旅客の利用と後援に酬ゆるためー月二日上り左記の通り運

ア

靴 界

處分 2

廣告御用命は電



大東京

信濟銀行

春中砂園村川治の

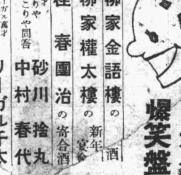


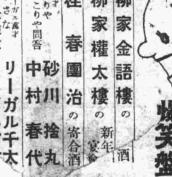


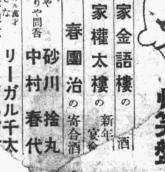


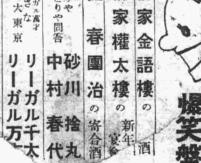


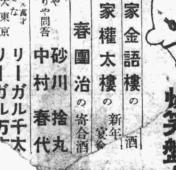


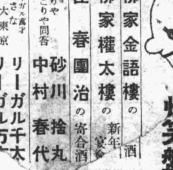


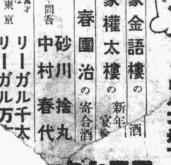


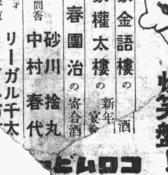




















山前は最も迅速にし、

公學校前(親殿ビル裏側)

新京名为

んぢゆう 〇十 番

新一京 事公判は二十七、八兩日に亘 り同館公判廷に於て開廷され たが中でも一きわ傍聴人の注 たが中でも一きわ傍聴人の注

三番目に人目をはばかる如くられた事件ー此の日公判の銘から主家の金を横領して捕へめら主家の金を横領して捕へ

を工面とを追び、つあとを追び、つあとを追び、 一部が出り、一部が出り、 一部が出り、 一部が出り、 一部がある。 一がある。 一がもの。 一がものが。 一がものが。 一がものが。 一がものが。 一がものが。 一がものが。 一がもの

# 奥地繼越し約四百八十萬 に現はれた街の景氣

## 新京中央郵便局の年賀郵便特別取扱は二十日から開始され局員は向ふ鉢卷で不眠不休の大車輪で十九日取扱を終つたが十九日までの年賀郵便引受累計が二百十三萬七千三百八分で前年に比べて五十四萬の時、到着が百萬七千七百四十七通で約十七萬通の骨、奥地

中村遞信局長、他出理事官を記して勢を稿とく観察捜上局長室にてを親しく観察捜上局長室にてを親しく観察捜上局長室にである實況

年より七度寒

中村遞信局長、他出理事官を 郵便局局員の勞を稿ふたり大 郵便局局員の勞を稿ふたり大 野協東局總長は二十八日午前 た現はれでは 6

建設時代に入り景氣火となつた現はれでと見られる

訪れ木内主任を通じて金一封 るや各方面からの同情翕然と して集り、二十九日午前無名 の婦人二人が新京署保安保を

(六)、妹婿姜信答(三〇) 女事務員高先女(一九)の四 人を手斧及び棍棒にて慘殺し

捕はる

開眼式を執

十二月二十六日本市救済院 容者の為め此の正月に御馳走 として異ふる標、市公署經理 として異ふる標、市公署經理 として異ふる標、市公署經理 の名附があつた、救済院では 救済院の養脈の肉と白面で包 力を作り正月を少しでも樂し

投濟院收容者も

総り、長くも 皇帝陛下から 御内帑金下賜の光榮に浴した が來奉花の四月を切した

三時迄の成績左の如し 本女子一千米 1 職(代)二分三秒五2木 谷(代)二分三秒五2木 谷(代)二分三秒五2木 後(代)二分三秒五2木 2 年(代)二分四一秒九、 2 李(代)二分四一秒二、 3 安達(本)二分四一秒二、 4 石原(代)二分四一秒二、 4 石原(代)二分四一秒二、 全日本(3 11) 滿洲腦大

等科試驗合格者

新京兩署か

日酸表されたが、合格者は今日酸表されたが、合格者は今 ら世名合格

までの例を破つて百二十名の 多数に上つてゐるが、之が入 所式は一月十日と三月中旬頃 の二回に至つて行はれる筈で ある、新京署及び領警の合格 者は左の如くである 吉田喜一、丹治豐吉、清水 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、岡强曹、下田正一、杉 一大、田田平、平尾孝 中田東、大坂潔、後卿滿、 平岡輝、天坂潔、後卿滿、 下田正寺、本

第四回氷上オリムピック大會 に今日午後九時ひかりで堂々 に今日午後九時ひかりで堂々 によって記念撮影をなし終っ で一行はれず代館で送々 によって記念撮影をなし終っ で一行は記念同十一時 愛列車で語 がい途に着く

電話

### 新洲國主要二十五都市の人口 調査局では準備全く成り當日 を待つばかりであるが、この を待つばかりであるが、この が、は変の類別では準備全く成り當日 を本人口調査は明日に迫り、 で表すが人口調査は明日に迫つ で来ました、度々言ふ様で すが人口調査は國家善政施 を事項は(一)姓名(二) 月に於ける地位(三)男女 の別(四)出生の年月(五) 月に於ける地位(三)男女 の別(四)出生の年月(五) 親りなき様記載せられる様 の不項目で決して難かし 第の八項目で決して難かし 第の八項目で決して難かし があるを是報書の詳細なる注 はなるとなる。 ではありませんから ではありませんから ではありませんから ではありませんから 様ら注布らし図

年の類が押し迫つてから新京 年の類が押し迫つてから新京 の 本格的 寒氣がいよ (やつ

**價格五萬圓の阿片を抱滅所持** の荷物を全部押收調査せる所

を同縁に寄贈 敷にして機宜 では客峰

ー額、二萬五千圓 星を得た處置に感 日を得た處置に感

零下

奉天冰上

く行てれ暮も年十和昭でく斯

なく有の儘

はます 本調査は皆様の正確なる由 はの際國家的文化事業に基 此の際國家的文化事業に基 はの際國家的文化事業に基 はの際國家的文化事業に基 はの際國家的文化事業に基 はの際國家的文化事業に基 はの際國家的文化事業に基 はの際國家的文化事業に基 はの際國家的文化事業に基 はの際國家的文化事業に基

り四度低くこの向だと正月も と七度七分低い、新京園測所 の調査によると十二月は寒氣 が、東京園測所

かる ・ 性変示し正に殺人的寒 ・ のる の開近は三十日の関境チ

北鮮と満洲との関境チューコの寒氣は全滿的で、中でもこの寒氣は全滿的で、中でも

氣温零下十八度、午後は零下 手送別競技大會第二日は廿九 日午前九時半風速西二、四米 四米 日本計工時半風速西二、四米 日本計工時半風速西二、四米

赤十字新京支 せ、好艶鏃を織出した、午後選手共昨日にも勝る妙技をみ選手共昨日にも勝る妙技をみ 圓 大會場に到着した、大使は サルヘンに到着した、大使は 別指 は 一マ駐剳大使杉村陽太郎氏は 中では 別 着

今般日本赤十字社佩有功章計域愛事業費として各金一千個地を日本赤十字社新京支部を也を日本赤十字社新京支部をもところあつた 北原 外 世氏か

佐藤卯三郎氏から現金二十四 二十九日更に曙町三丁目二四 一斗、また平和胡同六一六號 一斗、また平和胡同六一六號

と信ぜられない様子で恐懼したよ有難涙に暮れてゐるとのことである

宮峰口で捕まる 「承徳國通」去る廿五日三十 七頭の駄馬に荷物を満載せる 六名の武裝騒高が潘家口分遺 断の前を通過、喜峰口を乗り 越えんと所するを喜峰口警察 をに訊問を開始し、荷物を檢 をはんとした所、殿商六名は 突如 發砲挑 戦したので、警 突如 發砲挑 戦したので、警

町五丁目近藤花子さん (三十一さとされ思ひ止つた市内富士さとされ思ひ止つた市内富士

昨日更に佐藤氏から廿

石次郎(四平惰) 一氏も同事業費として各二百 一時を高明した左記二 一次町穂積ム徳本

村たを圓洲社

起すれば本官又一掬の淚な きにあらず、被告の選んだ手段 あるが、被告の選んだ手段 あるが、被告の選んだ手段 あるが、被告の選んだ手段 あるが、被告の選んだ手段 あるが、被告の選んだ手段 ものに係り、二人の情愛に 比較するときすべからく被 ものである するつどひ 新京の元旦吉例行事「初日の 新京の元旦吉例行事「初日の 出を拜するつどひ」午前七時 は、 化聯盟主催國恩感謝國旗掲揚 化聯盟主催國恩感謝國旗掲揚 初日の出を拜

と起訴事實を述べ引續き 然を使用し、満洲銀行員を 概を使用し、満洲銀行員を だものである たものである

手を行使

人情公割

述べるや裁判長は私印法所不定無職水野孫義へ

大大山 にして前途春秋に富みこれを永く均差するに於ては國家の生産力もよい於に国みこれを永く均禁するに於ては國家の生産力もよい於は開きがいよく、更生を警ひ改使的今度に限り総数されることでもありり今度に限り懲役十五百間は皆いよく、更生を警ひ改使り今度に限り懲役十万月によりの情顯著なるを認むるによりの情顯著なるを認むるによりの情顯者なるを認むるによりによりない。 めつけ更に塵を落 

本さ、三〇東西後末殿景へ 橋黒門市場等より有線無路 ・ 一 三〇東西後末殿景へ

正月]四日

離連北支へ向ふ鞭定である は三十二日午後三時發あじあ で健育、 同地で春を迎へ二日 に投宿、同地で春を迎へ二日

女流浪曲界の最高

富士 京山み とり 藤藍

若

共二追米博都 

あす大連へ

場女儿 店員數 張 2 進出堂堂

**吉林料理店** 場國に付居拔の儘至急讓り度し

電話二一二三四八番

讓店叉貸店

(裏部政民) 路馬五西

TEITO KINE

作曲 奥山貞 (P) 一九三

酵

